様式１－１

［概要報告書］

実践校に関する事項		
学校区分	**学校名**	**学校長名**
小学校	新宮市立　王子ヶ浜小学校	谷口　幸生
学校所在地		
（〒　647-0031　）　和歌山県新宮市田鶴原町2丁目10番1号 **tel**　0735(22)8431　**fax**　0735(22)8432		
担当者名		**役職名・担当教科**
里際　一葉		教諭　5年担任

研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	**学習支援者等（延人数）**	**主な活動場所**
5年生　45名	**職員　5名**	和歌山県世界遺産センター・5年教室
実践研究テーマ		
世界遺産についての知識を深め、郷土を愛する心を育てる		
実践教科等名	**単元名**	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう	

〔キーワード〕　世界遺産学習　郷土学習

〔単元目標〕

（１）熊野参詣道を実際に歩くことで、地域にある文化遺産の素晴らしさを体感する。

（２）資料や自分の体験などを生かして、自分の伝えたい事柄を効果的に表現しようとする。

（３）郷土にある文化遺産を守り引き継いでいくために自分にできることを考えようとする。

〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び　学習活動名／教材名）〕

全体　10　**時間**　（「　世界遺産について調べよう　」　10**時間**　）

〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕

和歌山県世界遺産センター　‥‥‥　次世代育成事業（世界遺産講座、現地学習）

世界遺産マスター　‥‥‥　次世代育成事業（現地学習）

様式１－２

［概要報告書］

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・世界遺産とは何かを知る。 ・世界遺産について知っていることを話し合う。	・世界遺産について興味が持てるようにする。	発言 ワークシート
2	・身近にある世界遺産や史跡について学習する。 ・講師を招き、実際に世界遺産や史跡を巡る。	・身近にも世界遺産があることに気付かせる。（神倉神社、阿須賀神社、歴史民俗資料館、新宮城跡）	発言 ワークシート
3	・世界遺産講座を受講する。	・世界には様々な世界遺産があることに気づかせる。 ・世界遺産について自分知りたいと思うことを明確にもたせる。	発言 行動観察
4	・熊野参詣道についての話をききながら実際に参詣道を歩く。	・道の保全活動に参加することで、世界遺産守り残していくことの大変さや大切さに気づかせる。	発言 行動観察 振り返りシート
5	・世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について詳しく調べる。 ・調べたことを整理しまとめる。	・それぞれの興味関心に応じて多様な調べ方を行わせる。 ・世界遺産についての思いや願いが伝わるよう、表現を工夫させる。	スライド
6	・まとめたことを紹介し、感想を交流する	・地域の世界遺産についての知識や愛着が深まっていくようにする。 ・世界遺産を守り次世代に伝えていくために自分たちにできることを考えさせる。	発言

〔単元学習の成果と課題〕

（成果）現地学習を取り入れることで、地域の文化遺産への関心を深めることができた。

（課題）文化遺産を守ることの大切さについて考えさせるために、様々な保全活動に携わっている人々の思いなどについても触れられるとよいと思った。

〔世界遺産学習の効果〕

・参詣道を実際に歩くことで、身近にある文化遺産の素晴らしさに触れられたと思う。このような体験を通して自分たちの住む地域に誇りを持つことができると思う。

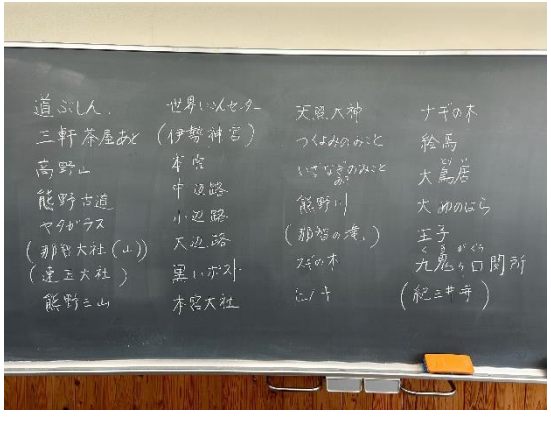
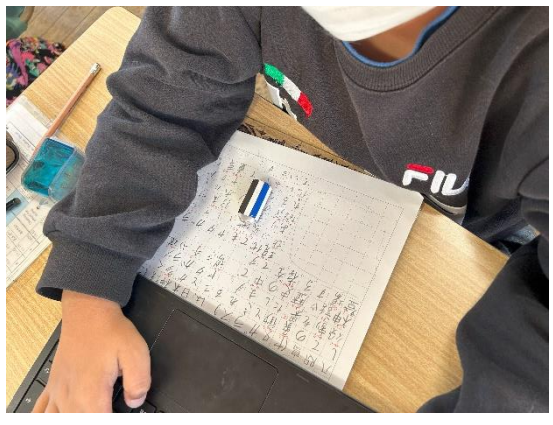
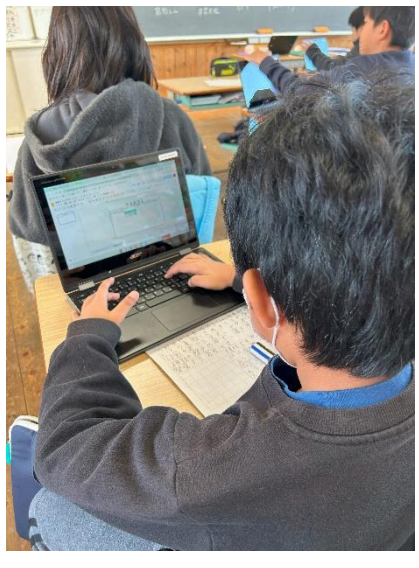
・歩いている最中に他の参拝者たちを見かけた。地域にある文化遺産が様々な人々に注目されているという実感をもつことができたと思う。

・身近な世界遺産や史跡の学習・見学（神倉神社、阿須賀神社、歴史民俗資料館、新宮城跡）と、今回の事業を合わせて行ったことで、自分たちのふるさとの伝統文化や、それらが代々伝わってきているという素晴らしさを改めて知ることができたと思う。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

・今回は、体験したことや調べてまとめたものを、学級内で発表・紹介し合うという形で行った。今後は、保護者や、さらに、地域に向けて発信する機会などが設けられればよいと思った。

・地域の文化遺産を守るためにできることを考えるという話し合いを深めるためには、参詣道に対する興味関心をもっと深めさせるような指導の工夫が必要だと感じた。

様式２

令和６年度　「次世代育成事業」における学習記録　　［概要報告書　　学習記録・活動写真］